



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社イボキン 上場取引所 東
コード番号 5699 URL <https://www.ibokin.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高橋 克実
問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理本部長 （氏名）吉田 朋子 TEL 0791（72）5088
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	7,296	1.0	454	△24.6	471	△24.2	429	5.7
2024年12月期第3四半期	7,225	17.8	603	58.3	621	58.7	406	58.6

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 519百万円（0.7％） 2024年12月期第3四半期 515百万円（132.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	130.62	—
2024年12月期第3四半期	122.81	—

（注）「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	7,283	4,967	67.9
2024年12月期	6,337	4,534	71.6

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 4,943百万円 2024年12月期 4,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	32.00	32.00
2025年12月期	—	—	—		
2025年12月期（予想）				32.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,950	3.0	548	△31.3	568	△31.0	486	△6.6	147.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規1社 (株式会社ミツエ)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	3, 427, 200株	2024年12月期	3, 427, 200株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	140, 292株	2024年12月期	137, 792株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	3, 287, 424株	2024年12月期 3 Q	3, 307, 771株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱含みの動きが見られるものの、緩やかに回復しています。雇用・所得環境は緩やかに改善し、設備投資も増加していますが、物価の高止まりが継続しています。一方、米国の外交・通商政策に対する懸念は沈静化しつつあるものの、依然不透明な状況が続いております。当第3四半期連結累計期間における鉄スクラップの資源価格は概ね横這いで推移し、期間内の平均価格は前年同期を下回りました。銅スクラップ等の非鉄金属の価格は一時急落しましたが、期間内平均価格は前年同期を若干上回る水準まで回復しました。

このような経済情勢の下、当社グループは、解体・環境・金属の各事業が総合的にニーズを探り出し、解体工事や設備撤去、スクラップの買取り、産業廃棄物収集運搬・中間処理を経て素材メーカー等に再生資源を提供する「ワンストップ・サービス」をさらに推進させております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,296,559千円（前年同期比1.0%増）、営業利益は454,613千円（同24.6%減）、経常利益は471,136千円（同24.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は429,420千円（同5.7%増）となりました。

各セグメント別の状況は下記のとおりです。

<解体事業>

解体工事については、大規模な工場や医療施設等の大型案件が進捗し、セグメント全体としては増収となりました。しかしながら複数の案件において原価の実績が見積総原価を超過することが判明し工事の進捗度を精査した結果、当該案件の売上高の計上を抑える要因となり、また当該案件について今後予想される損失の見積額を引当計上しました。また、株式会社ミツエを株式取得（当社の持株比率90.9%）により子会社化したことに伴う負ののれん発生益62,581千円を特別利益に計上しております。

これらの結果、売上高は2,492,022千円（前年同期比41.2%増）、営業利益は129,875千円（同50.9%減）となりました。受注残高については、工事の進行度に応じてすでに売上計上された部分を除き1,374,381千円となりました。工事監督者数については、当第3四半期連結会計期間末時点で39名となりました。

<環境事業>

産業廃棄物処理受託の取扱量は15,498トンと堅調に推移し、再生資源販売の取扱量は12,836トンと軟調に推移しました。設備等の撤去案件がスポット的に発生したことや、有価物を多く含む廃棄品の取り扱いが増加しましたが、鉄スクラップ相場が前年同期よりも低水準で推移したことで再生資源販売が伸び悩んだ結果、減収、減益となりました。

これらの結果、売上高は1,474,320千円（前年同期比4.5%減）、営業利益は170,479千円（同23.6%減）となりました。

<金属事業>

当第3四半期連結累計期間における当事業の金属スクラップ取扱量は55,928トン（うち当社工場でのスクラップの取扱量は44,056トン、残りは当社工場を介しない直送取引）となりました。鉄スクラップ価格が前年同期より低い水準で推移したため減収となりましたが、大型解体案件や設備撤去案件等から発生したスクラップに加工選別による付加価値をつけての販売が寄与し、銅価格の上昇も相まって、増益となりました。

これらの結果、売上高は3,330,216千円（前年同期比15.0%減）、営業利益は154,259千円（同33.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,283,948千円となり、前連結会計年度末に比べて946,846千円増加しました。流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて190,201千円増加の3,750,717千円となりました。固定資産は、リース資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて756,644千円増加の3,533,231千円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,316,202千円となり、前連結会計年度末に比べて513,292千円増加しました。流動負債は、工事未払金の増加等により、前連結会計年度末に比べて38,244千円増加の1,426,945千円となりました。固定負債は、リース債務の増加等により、前連結会計年度末に比べて475,048千円増加の889,257千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて433,553千円増加の4,967,745千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日付け公表「2024年12月期決算短信〔日本基準〕」に記載した連結業績予想を修正しております。
詳細については、本日（2025年11月14日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,261,551	2,177,081
受取手形、売掛金及び契約資産	1,093,066	1,305,952
商品及び製品	3,774	666
仕掛品	2,115	6,713
原材料及び貯蔵品	114,181	136,559
未成工事支出金	30,573	40,761
その他	55,362	83,104
貸倒引当金	△110	△122
流動資産合計	3,560,515	3,750,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	366,352	371,421
機械装置及び運搬具（純額）	663,303	774,841
最終処分場（純額）	66,825	67,677
土地	869,768	1,024,027
リース資産（純額）	97,809	474,211
建設仮勘定	20,032	29,179
その他	47,072	47,565
有形固定資産合計	2,131,163	2,788,922
無形固定資産		
その他	34,193	26,297
無形固定資産合計	34,193	26,297
投資その他の資産		
投資有価証券	438,308	552,993
保険積立金	119,435	114,132
繰延税金資産	121	121
その他	53,363	50,763
投資その他の資産合計	611,228	718,010
固定資産合計	2,776,586	3,533,231
資産合計	6,337,101	7,283,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	365,462	372,091
工事未払金	168,294	336,215
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	108,760	15,756
リース債務	28,983	112,093
未払金	88,132	73,584
未払法人税等	215,343	12,201
契約負債	1,229	15,502
賞与引当金	19,129	69,633
受注損失引当金	—	12,835
その他	293,365	207,031
流動負債合計	1,388,701	1,426,945
固定負債		
長期借入金	4,300	84,173
リース債務	3,345	353,128
役員退職慰労引当金	331,596	340,417
退職給付に係る負債	12,126	12,224
繰延税金負債	34,038	68,654
資産除去債務	28,800	30,660
固定負債合計	414,208	889,257
負債合計	1,802,909	2,316,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,598	130,598
資本剰余金	945,418	954,794
利益剰余金	3,521,422	3,845,581
自己株式	△184,864	△188,011
株主資本合計	4,412,574	4,742,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,618	200,198
その他の包括利益累計額合計	121,618	200,198
非支配株主持分	—	24,584
純資産合計	4,534,192	4,967,745
負債純資産合計	6,337,101	7,283,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,225,880	7,296,559
売上原価	5,855,605	5,992,630
売上総利益	1,370,274	1,303,928
販売費及び一般管理費	767,261	849,314
営業利益	603,013	454,613
営業外収益		
受取利息	78	1,160
受取配当金	4,834	6,196
受取手数料	3,131	2,571
受取補償金	5,800	4,300
その他	8,379	6,659
営業外収益合計	22,223	20,887
営業外費用		
支払利息	1,965	4,334
支払補償費	1,627	—
その他	255	30
営業外費用合計	3,848	4,364
経常利益	621,388	471,136
特別利益		
固定資産売却益	620	11
受取保険金	—	77,650
負ののれん発生益	—	62,581
特別利益合計	620	140,244
特別損失		
固定資産除却損	17	135
弔慰金	—	11,880
特別損失合計	17	12,015
税金等調整前四半期純利益	621,991	599,365
法人税等	215,758	158,486
四半期純利益	406,232	440,878
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	11,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	406,232	429,420

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	406,232	440,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,743	78,580
その他の包括利益合計	109,743	78,580
四半期包括利益	515,976	519,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,976	508,001
非支配株主に係る四半期包括利益	—	11,458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	213,686千円	245,404千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注1)
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
一時点で移転される財・サービス	454,201	1,543,495	3,917,660	5,915,357	—	5,915,357
一定の期間にわたり移転される財・サービス	1,310,523	—	—	1,310,523	—	1,310,523
顧客との契約から生じる収益	1,764,724	1,543,495	3,917,660	7,225,880	—	7,225,880
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,764,724	1,543,495	3,917,660	7,225,880	—	7,225,880
セグメント間の内部売上高又は振替高	562,040	279,553	26,387	867,980	△867,980	—
計	2,326,764	1,823,048	3,944,047	8,093,861	△867,980	7,225,880
セグメント利益	264,317	223,090	115,605	603,013	—	603,013

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注1)
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
一時点で移転される財・サービス	677,703	1,474,320	3,330,216	5,482,239	—	5,482,239
一定の期間にわたり移転される財・サービス	1,814,319	—	—	1,814,319	—	1,814,319
顧客との契約から生じる収益	2,492,022	1,474,320	3,330,216	7,296,559	—	7,296,559
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,492,022	1,474,320	3,330,216	7,296,559	—	7,296,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	647,872	214,723	27,564	890,160	△890,160	—
計	3,139,895	1,689,043	3,357,780	8,186,719	△890,160	7,296,559
セグメント利益	129,875	170,479	154,259	454,613	—	454,613

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。